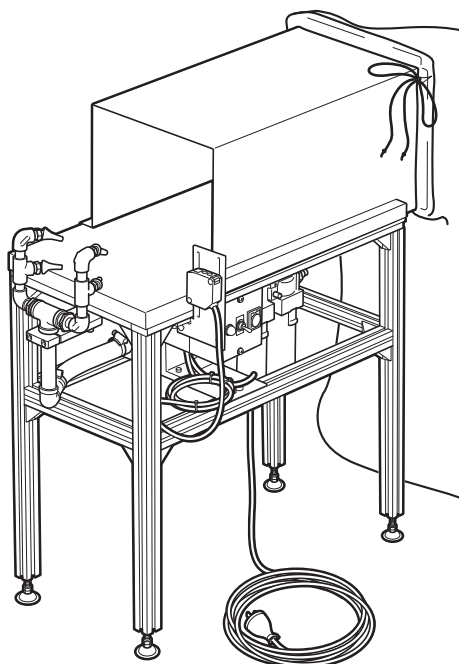


ネギの皮むき機 パ〜ッと名人



各部の名称と機能 …… 2～3

本体各部 …… 2～3

付属品 …… 2～3

安全上のご注意 …… 4～6

警告 …… 4～6

注意 …… 6

ご使用前の準備 …… 7

高さの調整 …… 7

カバー、ネットの取り付け …… 7

使用方法 …… 8～11

使用方法 …… 8～9

終了方法 …… 10

光電センサの位置調整 …… 11

光電センサの感度調整 …… 11

エア吹き出し時間の調整 …… 11

保守と点検 …… 12

作業後のお手入れ …… 12

故障かな?と思ったら …… 13

仕様 …… 16

このたびはネギの皮むき機をお買い求めいただき、ありがとうございます。

この商品は、コンプレッサで圧縮された空気を使い、長ねぎの皮むきを行う空圧装置です。

●正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に本取扱説明書を必ず読み、記載の手順に従ってご使用ください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる場所に、大切に保管してください。

●第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。

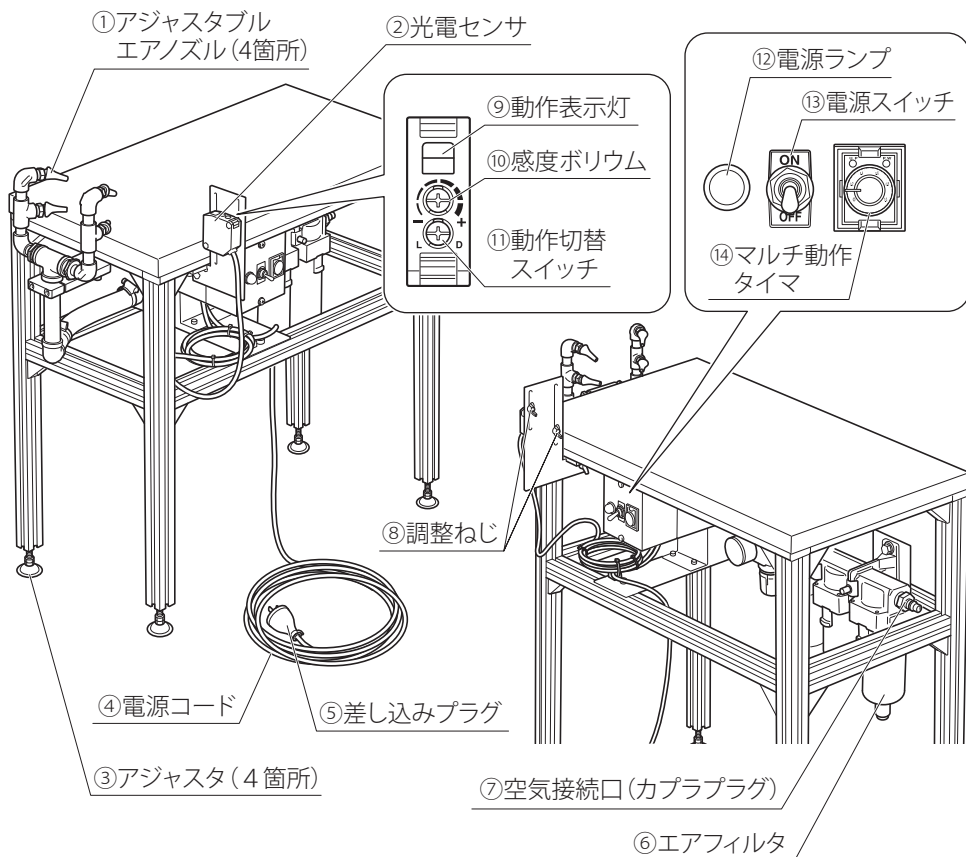
●本取扱説明書の裏表紙は、保証書となっております。販売店より「お買上げ日・販売店名」などの記入があることをお確かめください。

●当商品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは当社（下記・裏表紙記載）にご連絡ください。

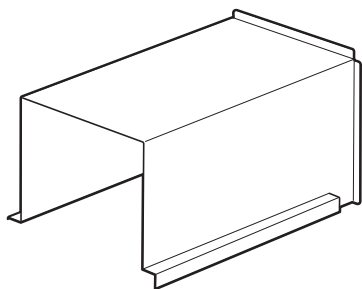


各部の名称と機能

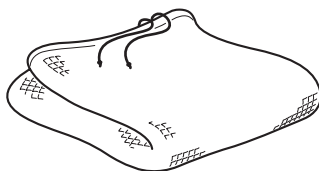
■本体各部



■付属品



⑮ カバー



⑯ ネット

開梱後、下記の物が揃っているかご確認ください。
不足している場合は、販売店または発売元までご連絡ください。

No.	名 称	機 能
①	アジャスタブルエアノズル(4箇所)	エアを吹き出すノズルです。方向の調整が可能です。
②	光電センサ	ねぎを自動感知するセンサです。
③	アジャスタ(4箇所)	台の高さを調整します。
④	電源コード	電源コードです。
⑤	差し込みプラグ	差し込みプラグです。
⑥	エアフィルタ	吹き出す空気内のゴミやホコリを取り除きます。
⑦	空気接続口(カプラプラグ)	エアホースを取り付ける空気接続口です。
⑧	調整ねじ	光電センサの位置を調整するねじです。
⑨	動作表示灯	光電センサの状態を表示します。 スタンバイ：緑 センサ反応時：橙
⑩	感度ボリューム	長ねぎの太さに対する感度を調整します。
⑪	動作切替スイッチ	長ねぎの白い部分と緑の部分の色彩感度を調整します。
⑫	電源ランプ	電源スイッチをONにすると点灯します。
⑬	電源スイッチ	電源スイッチです。
⑭	マルチ動作タイマ	エアを吹き出す時間と間隔を調整します。

No.	名 称	機 能
⑮	カバー	台の上に設置して、長ねぎの皮が飛び散らないようにするカバーです。
⑯	ネット	カバーに取り付けて長ねぎの皮を集めるネットです。



安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを下記のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分しています。

⚠ 警告

『死亡や重傷を負う、または火災が発生するおそれがある内容』です。

⚠ 注意

『傷害を負う、または物的損害が発生するおそれがある内容』です。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分しています。



してはいけない内容
『禁止事項』です。



必ず実行していただく内容
『強制事項』です。

⚠ 警告



取扱説明書をよく読み、指示に従う。

・取扱説明書に記載された内容以外での使用は、事故の原因となります。



長ねぎの皮むきにのみ使用する。

・指定用途以外へのご使用は、重大な事故の原因となります。



下記の条件を満たす場所で使用する。

- 雨や水などがかからない、乾燥した場所
- 可燃性のガスや液体、揮発性可燃物や火気が近くに無い場所
- 足場が水平で、安定している場所
- 十分に明るく、ゴミやホコリの無い片づいた場所
- 子どもや、使用者以外が近づかない場所

・上記に反する場所での使用は、火災や感電、爆発などの重大な事故や、けがの原因となります。



使用前に本機各部のねじにゆるみがないことを確認する。



分解禁止

分解・改造を行わない。

・事故やけが、故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または発売元までご連絡ください。



濡れ手禁止

ぬれた手で、差し込みプラグの抜き差しはしない。

・感電やけがの原因になります。



圧縮空気以外は、絶対に使用しない。

・本機はエアコンプレッサで圧縮された空気を利用する空圧装置です。圧縮空気以外の高圧ガス（酸素やアセチレン、プロパンガスなど）は絶対に使用しないでください。爆発事故の可能性があり、大変危険です。

 **本機能力を十分に発揮するために、内径8.5mm以上のエアホースのご使用をおすすめします。**

 **エアコンプレッサとの配管や接続箇所を確認する。**
・確実に接続されていないと、エア漏れを起こし、作業能力の低下を招いたり、使用中にエアホースが外れ、思わぬ事故の原因となります。

 **本機は大切に取り扱い、誤って落としたり、ぶつけたりした時は、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。**
・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
・エアホースを引っ張って本機を移動させないでください。破損の原因になります。

 **空気圧力は、0.5～0.7MPaで使用する。**
・0.7MPaを超える圧力で使用すると、本機の破裂や損傷の恐れがあり、危険です。

 **電源コードは乱暴に扱わない。**
●電源コードを持って本体を運んだり、電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
●電源コードを熱、油、角のついた所に近付けない。
●電源コードに重い物を載せたり、挟み込んだりしない。
・電源コードを傷め、断線、短絡（ショート）し、火災や感電の原因になります。

 **使用中に、作業以外に近づけない。**
・けがの原因となります。

 **定格15A以上のコンセントを単独で使用する。**
・他の器具と併用すると、異常発熱による火災の原因になります。

 **使用前に、本機に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認する。**

<異常・故障例>

- 電源コードや差し込みプラグが異常に熱い。
- 電源コードに深いキズや変形がある。
- コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- 焦げくさい臭いがする。
- ビリビリと電気を感じる。
- スイッチを入れても動かない等
- ・発煙、発火、感電、けがの原因となります。

 **不意な始動は避ける。**
●差し込みプラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチがOFFになっていることを確かめてください。
・けがの原因となります。



安全上のご注意

必ずお守りください。

警告



使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が生じた時は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店または発売元まで連絡する。

・そのまま使用していると、事故やけがの原因になります。



次の場合は必ず、エアホースを本機から外す。

- ・本機を持って移動する時や、他者に手渡しする時。
- ・修理や調整、点検整備を行う時。
- ・その他、事故が予想される時。



定期点検を実施する。

・本体や付属品に損傷が無い点検してください。損傷がある場合は使用しないでください。そのまま使用すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や故障の原因になります。

注意



作業場はいつも明るく、きれいにする。

・暗かったり、散らかった場所での作業は事故の原因になります。



騒音対策を行う。

- ・騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。周囲の迷惑にならないよう、規制値以下で使用になることが必要です。
- ・作業に支障をきたさない範囲で、エア圧力を低くしてご使用ください。
- ・必要であれば、遮音壁を設けて作業を行ってください。



本機及びエアコンプレッサを、エア充填のまま長時間直射日光の当たる場所に、放置しない。

・タンク内の圧力が高くなりすぎ、事故の原因になります。



エアコンプレッサのドレン（水）を毎回抜く。

- ・エアコンプレッサで空気を圧縮すると、空気中の水分が凝結し、エアタンクの底や配管内にドレンとなって溜まります。このドレンを毎回点検し、ドレンコックから抜いてください。
- これを怠ると、湿気などで本機の腐食や磨耗の原因となります。
詳しくはお使いのエアコンプレッサの取扱説明書をお読みください。



下記の条件を満たす場所で保管する。

- ・雨や水などがかからない、乾燥した場所
- ・子どもや、管理者以外が近づかない場所
- ・直射日光の当たらない場所



ご使用前の準備



部品を取り付ける前に必ず電源スイッチをOFFにして差し込みプラグを電源から抜き、エアホースを本機から取り外してください。

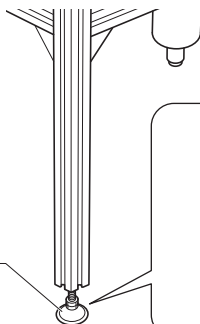
■高さの調整

1

アジャスタを回して脚の高さを調節し、4本の脚を床面にしっかり接地させます。

- 台のガタつきがなくなるまで確実に調節してください。

③アジャスタ (4箇所)



回す

③アジャスタ

■カバー、ネットの取り付け

1

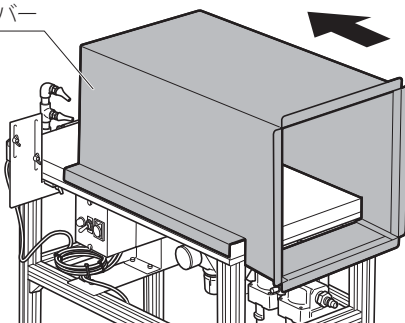
カバーを取り付けます。

- 図の方向にスライドさせ、突き当たった位置に設置してください。



カバーの角は鋭利になっている箇所があります。
取り付けの際は作業用手袋を着用してください。

⑮カバー

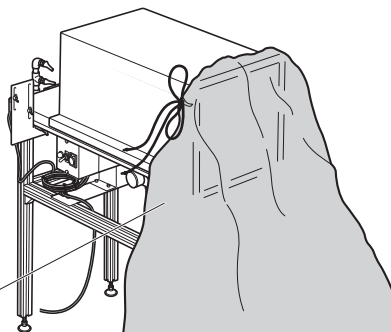


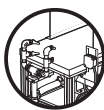
2

ネットをカバーに取り付けます。

- カバーから抜け落ちないように、しっかりとヒモで固定してください。

⑯ネット





使用方法



必ず内径8.5mm以上のエアホースを使用してください。

コンプレッサは、2.2 kW {3 PS} 以上を推奨します。

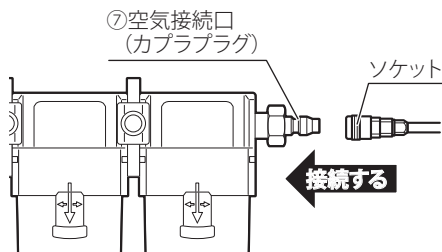
小型のコンプレッサでも使用はできますが、空気が溜まるまで待つ断続的な作業になる可能性があります。

■使用方法

1

エアホースを接続します。

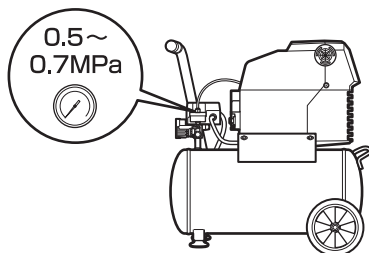
- エアホースのソケット部を本機のカプラプラグに接続します。



2

コンプレッサから圧縮空気を送ります。

- 圧縮空気の圧力は、0.5MPa程度から始め、必要に応じて徐々に上げてください。



3

差し込みプラグを電源 (AC100V) へ差し込みます。



ぬれた手で、差し込みプラグの抜き差しはしないでください。



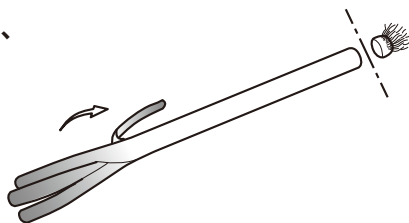
差し込みプラグを差し込む前に、電源スイッチをOFFにしてください。

4

電源スイッチをONにします。

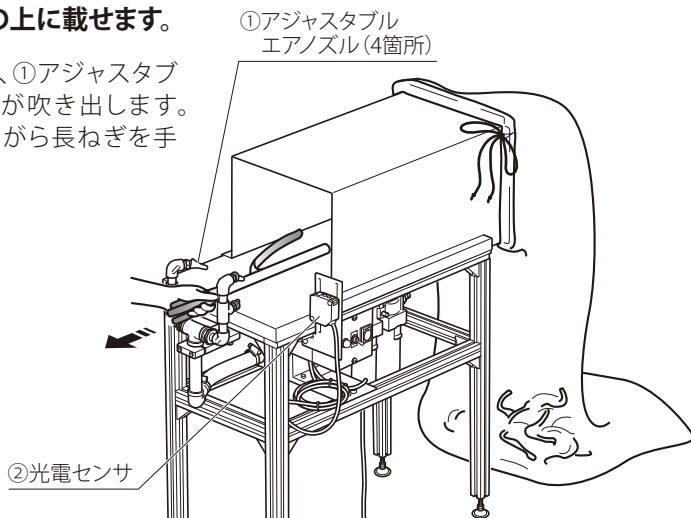


- 5** 長ねぎの根元を切り落とし、
葉の方を軽くむきます。



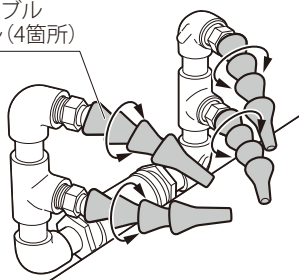
- 6** 長ねぎの皮をむいた方を手
前に持ち、台の上に載せます。

- ②光電センサが作動し、①アジャスタブル
エアノズルからエアが吹き出します。
エアを皮部分に当てながら長ねぎを手
前に引いてください。

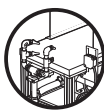


- 長ねぎに合わせて①アジャスタブルエア
ノズル (4箇所) の角度が調整できます。

- ①アジャスタブル
エアノズル (4箇所)



- 長ねぎの太さや状態に合わせて、②光電
センサの感度を調整できます。



使用方法

■終了方法

1 電源スイッチをOFFにします。



2 差し込みプラグを電源から抜きます。

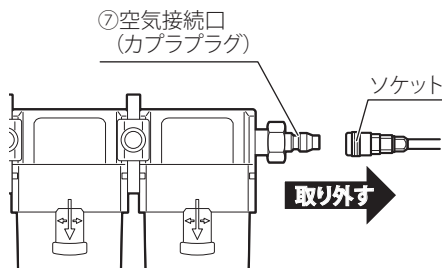


ぬれた手で、差し込みプラグの抜き差しはしないでください。



- ・必ず差し込みプラグを持って、電源から引き抜いてください。
- ・使用時以外は、差し込みプラグを電源から抜いてください。

3 エアホースを取り外します。



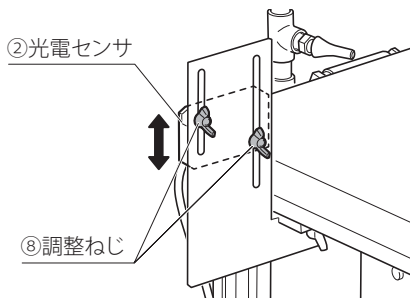
4 ネットを取り外し、ねぎの皮を取り出します。



■光電センサの位置調整

1 調整ねじをゆるめて、光電センサの位置を調整します。

- 長ねぎの形状に合わせて②光電センサの高さを調整できます。
調整が終わったら⑧調整ねじをしっかりと締めてください。

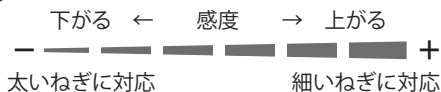


■光電センサの感度調整

1 プラスドライバーで光電センサの各ボリウムを回し、感度を調整します。

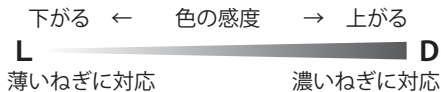
ねぎの太さに対する感度の調整

- ⑩感度ボリウムを調整します。



ねぎの色に対する感度の調整

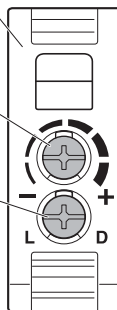
- ⑪動作切替スイッチを調整します。



②光電センサ

⑩感度ボリウム

⑪動作切替スイッチ



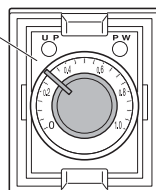
■エア吹き出し時間の調整

1 マルチ動作タイマのツマミを回して数値を変更し、エアの吹き出す時間を調整します。

調整例

- ⑭マルチ動作タイマの数値を0.3に調整

⑭マルチ動作タイマ



吹出
0.3秒

停止
0.3秒

吹出
0.3秒

停止
0.3秒

吹出
0.3秒

停止
0.3秒

.....



保守と点検



雨にさらしたり、湿った場所または濡れた場所で作業しないでください。
故障の原因となります。



本機の清掃または保守点検・整備の際には必ず電源スイッチをOFFにして差し込みプラグを電源から抜き、エアホースを本機から取り外してください。

■作業後のお手入れ

1

乾いた柔らかい布で拭いてください。

2

汚れのひどい時は、水で薄めた中性洗剤少量を柔らかい布に含ませ十分に絞ってから拭き、その後乾いた柔らかい布で拭きとってください。



シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナ類では絶対に拭かないでください。

3

各部取付ねじのゆるみ、本体の破損などの点検を行い、適切な場所へ保管してください。

- 各部取付ねじを点検し、ゆるんでいたら、締め直してください。
- 本体や付属品に破損が無い点検してください。損傷がある場合は使用しないでください。そのまま使用すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や故障の原因になる恐れがあります。



次の場所には保管しないでください。

- 軒先など雨がかったり、湿気のある所
- お子様の手が届いたり、持ち出せる場所
- 直射日光の当たる所



故障かな？と思ったら

●次のチェックリストに沿った点検を行ってください。

症 状	原 因	解 決 方 法
ねぎを台の上に置いていてもエアが出ない	①電源が入っていない	①差し込みプラグを電源へ差し込み、電源スイッチをONにしてください。
	②エアホースが接続されていない	②エアホースが確実に接続されているか確認してください。
	③エアホースの内径が小さすぎる	③内径8.5mm以上のエアホースを使用してください。
	④エアホースが長すぎる	④エアホースを短くするか、径の大きいエアホースと交換してください。
	⑤光電センサの位置が適切ではない	⑤光電センサの位置を調整してください。 P11
	⑥光電センサの感度ボリューム、動作切替スイッチの調整が適切ではない	⑥感度ボリュームを－（マイナス）側へいっぱい、動作切替スイッチをL側へいっぱい回してください。 その後、それぞれを＋（プラス）側、D側へ回しながら調整してください。 P11
ねぎの皮がきれいにむけない	①エアコンプレッサの使用圧力が低い	①エアコンプレッサの空気圧力を、0.5～0.7MPaの範囲内で調節してください。
	②アジャスタブルエアノズルの角度が合っていない	②ねぎに合わせてアジャスタブルエアノズルの角度を調節してください。 P9

※これらのチェックを行っても正常に作動しない場合や、不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または発売元までご連絡ください。お問い合わせや、ご連絡がないまま直接発売元に修理品などを送付されても、処理・対応ができない場合がありますので、ご了承ください。

型 式	GOP-4NE
適 用 空 気 圧 力	0.5～0.7MPa
質 量	18.5kg(カバー・ネットを含む)
推奨使用ホース	内径8.5mm以上
電 源 コ ー ド 長	約3m
セ ッ ト 内 容	●本体 1台 ●カバー 1台 ●ネット 1個 ●取扱説明書 1部

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な状態で使用し、故障した場合には、
お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。

品 名		ネギの皮むき機 パヘツと名人		お買い上げ日※		年 月 日	
型 式		GOP-4NE		保証期間		6 ヶ月	
お客様※	ご住所	〒		販売店※	住 所 名 店 名 電話番号		
	ご氏名	様					
	電話番号	- () -					

※印欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理になります。

- ①本書の提示がない場合。
- ②本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。あるいは文字を書き替えられた場合。
- ③使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ④お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障及び損傷。
- ⑤火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- ⑥一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
- ⑦リサイクル業者や、使用者等による再販など、当社の責任範囲を超える場合。
- ⑧日本国外での使用。

2. 本書は、再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。